

私たちと一緒にまちづくりをしませんか

令和7年10月・令和8年4月採用職員募集



令和7年10月および令和8年4月採用の北上市職員を募集します。試験の詳細は、市のホームページをご覧ください。
■申し込み：4月15日(木)まで(リクナビWebエントリーシステムから)(郵送、持参不可)
※受験申し込みは、いずれか一つの試験職種に限り、登録後に変更することはできません。

■1次試験：4月18日(金)～5月18日(日)に全国のSPI3テストセンターまたは自宅などのパソコンを用いたオンライン接続で受験
※県内のテストセンターは盛岡大通会場(盛岡市大通三丁目23クリエイトビル1階)にあります。
■問い合わせ：総務課 72-8227



■募集内容

職 種	採用 予定 人数	要 件	
		年齢 (R7.4.1現在)	受験資格など
上級土木 (社会人)	2人程度	22歳以上 35歳未満 (H2.4.2～ H15.4.1生)	次のいずれかの要件を満たす人…①大学で土木に関する学科を卒業した②申し込み時点で★の資格を有する③令和7年9月末時点で道路や上下水道など土木に関する計画・設計・施工管理や都市計画に関する計画業務などの職務経験が5年以上ある
		40歳未満 (S60.4.2以降生)	大型自動車運転免許および大型特殊自動車運転免許の両方を有する人(令和7年9月末までに両方取得見込みを含む) ※3級自動車整備士以上の資格があればなお可
運転技士	1人程度		
上級事務 (前期)	合計 1人程度	21歳以上 34歳未満 (H3.4.2～ H16.4.1生)	社会福祉士の資格を有する人(令和8年3月末までの取得見込みを含む)または社会福祉士の受験資格を有する人
上級事務 (社会福祉)			
上級土木 (社会人)	2人程度	21歳以上 35歳未満 (H2.4.2～ H16.4.1生)	次のいずれかの要件を満たす人…①大学で土木に関する学科を卒業または令和8年3月までに卒業見込み②申し込み時点で★の資格を有する③令和8年3月末時点で道路や上下水道など土木に関する計画・設計・施工管理や都市計画に関する計画業務などの職務経験が5年以上ある
上級土木 (前期)			

★技術士(建設、上下水道、総合技術監理部門)、技術士補(建設、上下水道部門)、土木施工管理技士(1・2級)のいずれか

発掘成果をご覧ください 第32回埋蔵文化財展 「掘り出されたくらし」

令和4・5年度に市内で発掘調査した遺跡について、写真パネルや出土した遺物の展示などでわかりやすく解説します。
■とき：3月26日(水)～4月20日(日)9時～17時(最終入場は16時30分)
※3月31日(月)・4月4日(金)は休館日です。
■ところ：博物館 多目的室
■入場料：無料(同館常設展・特別展は有料)
■問い合わせ：埋蔵文化財センター 65-0098



下仙人館跡(中央：重要文化財多聞院伊澤家住宅)

外国人と日本人が快適に暮らすことができるまちを目指して 北上市の外国人住民数の状況

当市の外国人住民数

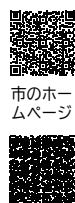
市内には現在、1389人(1月末時点)の外国人が暮らしており、10年前と比べると約3.7倍の増加、令和4年以降急激に増加し、市の人口9万1032人(1月末時点)の約1.5%を占めます。当市の外国人住民の国別割合は、ベトナム人43%、次いでインドネシア人16%、フィリピン人10%と続きます。在留資格で見ると、技能実習、特定技能が半数以上を占めています。業種別では製造業や農業、介護、サービス業などで幅広く働いています。外国人の人材受け入れにより、外国人住民の割合は今後さらに増えていくと予想されます。当市で暮らす外国人が地域社会の構成員として包摂され、私たち市民一人一人がお互いの文化的背景や考え方を理解し合い、地域社会を支える主体として共に生きていくという多文化共生のまちづくりが大切です。

多文化共生のまちづくりを促進

本年度「多文化共生のためのさかかけ」プロジェクト「Shared Future」(北上市国際交流協会主催、市共催)を実施しました。地域や企業、市民団体などと協働で全4回のワークショップを行い、外国人に分かるように「やさしい日本語」を使う重要性や、

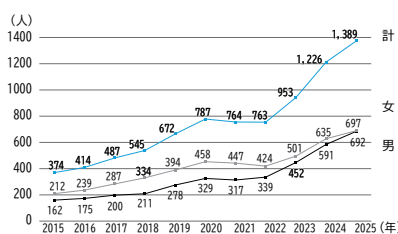
やさしい日本語の翻訳サイトなどを紹介するとともに、ごみの仕分けや防災などをテーマに外国人、日本人が交流しながら共に学びました。市内の日本人と外国人が交流を深めながら、お互いの言語や文化を理解することで、気持ちよく快適に暮らすことができるよう、今後も取り組んでいきます。

■問い合わせ：地域づくり課 72-8300



市のホームページ
国際交流協会のホームページ

■北上市の外国人住民数の推移(1月末時点)



お元気ですか市長です。⑮

北上市長 八重樫 浩文

ソフトウェアで北上を盛り上げ！

鬼剣舞・鹿踊・神楽など民俗芸能や詩歌、舞踊、絵画などの芸術文化。近年の児童・生徒の大活躍が光る合唱・吹奏楽などの音楽活動。展勝地の桜や多聞院伊澤家池の中尊寺ハス、藤根のざぜん草などなど：当市はこうした心の琴線に触れるソフトの魅力にあふれています。

また、昨年の市勢10大ニュースの第3位が「ポケモンで北上を盛り上げ」でしたが、北上・みちのく芸能まつりにいって応援ポケモンのインシツプテとイワンコが登場したことや、北上駅東口広場のポケモンマンホール(ポケふた)の設置などが、特に若い世代の関心が高かったのではないかと考察しています。

日本のアニメやゲームなどのコンテンツはソフトウェアの象徴とも言われますが、ポケモン以外でも、人気漫画「呪術廻戦」に当市の風景によく似た場面が登場したことから、ネット上で大きな話題になり、県内外から多くのファンが聖地巡礼に訪

れています。

当市と縁がある関東学院大学(神奈川県)の学生グループが、毎年度、当市に政策提言を行っており、先月18日、「地域創生セッション」として4グループから提言をいただきました。その中でも、ポケモンや呪術廻戦を活用した事業の提案がありました。著作権関係なども整理し、可能な限り、取り込んでいきたいと思っています。

来月、いよいよ展勝地に「インシツプテ公園」が「きたかみ」がオープンします。市内の子供たちはじめ市内外、県内外の皆さんに訪れていただき、交流人口、関係人口の増加につながればと思います。



©Pokémon/Nintendo/Creatures/GAME FREAK.